

お香立て用の注意書 H-3②

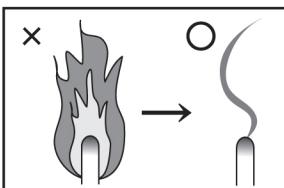


注意 必ずお読み下さい!!

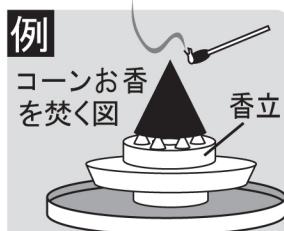
注意事項を守らないと火災やケガ・ヤケドなどの原因となります

★お香全般を焚く際の注意事項

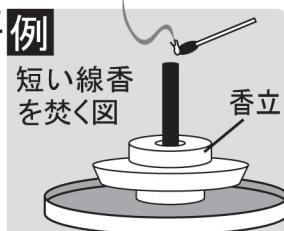
- 未成年の方などは、保護者の方と一緒に使ってください。
- きめられたお香だけを焚(タ)き、ほかのことに使わないで下さい。
- コーンお香や短い線香用のうけ皿は、専用の香立と一緒に(イッショ)に使って下さい。
- 竹芯香を焚くときは、お香部分(※)が受け皿にふれないようにして下さい。
- お香に火をつけたら、かならず炎を完全に消して、セットして下さい。



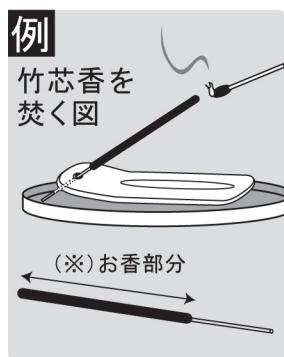
例



例



例



炎がついたままだと、お香全体がはげしく燃えづけ、危険です。(右の図 参照) ●お香に火をつける時、またはお香を焚いてる間、お香のさきっちょが、火がついたままおちたり、とびちったり、熱をもった灰が受け皿の外にこぼれことがあります。受け皿を大きめの不燃性トレーにのせて使うことをオススメします。 ●お香を焚いてる間は、受け皿のそばを絶対にはなれないで下さい。離れるとき・災害があった時・寝る時などは、必ず火を消して下さい。 ●下の①～⑤にあてはまる場所などでは、使ったり、保管したりしないで下さい。
①引火する恐れがある燃えやすいものや、フトン・衣類・カーテンなどの近く。
②高い・不安定・風がふく。
③熱に弱い、または熱で変色するかもしれない材質(木製品・漆器・樹脂など)の上や近く。
④ヤニやニオイがつくと困るフトン・衣類・カーテンなどの近く。
⑤お子さまやペットの手などが届く。
●使ってる間や、使い終わってすぐは、熱くなっているので、さわったりしないで下さい。 ●もう一回使うのは、こもった熱を冷ましてからにして下さい。 ●お香は1ヶづつ焚いて下さい。一度にたくさん焚くと、危険です。 ●ケガしないよう、とんがってる・でっぱつてるところに、うかつにさわったり、ぶつかったりしないで下さい。 ●テーブルや床などをキズつけないよう、引きずったりしないで下さい。 ●お香の煙をじかにすいこむと身体に悪いので、空気の入れかえをして下さい。香りの感じたは、ひとそれぞれ。自分にはあわないとと思ったら、焚くのをやめて下さい。 ●食べものではありません。飲みこむと危険です。